

新入生代表 挨拶

新しい春の到来とともに、私たち三九三名は本日、明誠学院高等学校の生徒として、入学を許可されました。私たちは今、高校生になったという喜びを改めて実感しています。そして、高校生としての自覚を持ち大人への階段を確実に歩んでいきたいと思えます。

ところで、この四月は、節目となる新年度の始まりですが、昨年来続く新型コロナウイルスの影響で、いつもと違った状況となっています。活動の自粛や延期など、今まであまり経験のないようなことが起きています。

しかし、そのような中でも、私たちは、世の中の動きに注目し、自分のできることに精一杯取り組みたいと思えます。高等学校では、勉強はもちろん、生徒会活動、部活動など、これまで以上に、自分の能力や個性を發揮できる場がたくさんあると聞いています。そこで私たちは、失敗を恐れず、何事にも主体的に行動し、自分を成長させたいと思えます。

一方、高等学校は、義務教育ではなくなり、自分に対する責任も大きくなります。自分に厳しく、客観的

に物事を判断することも必要になります。さらに、明誠学院高等学校では、「まこと」の精神を大切にして、いるとお聞きしています。今まで、「まこと」について、深く考えたことはありませんでした。高校生活で、「まこと」とはどのようなものを考え、そのことばにふさわしい高校生になりたいと思います。そして何より、これからの三年間、ともに歩む仲間を大切に、励まし、協力し合って、一生の友といえる、関係を築きたいです。

まだまだ未熟な私たちですが、この学び舎で、意欲と向上心を持ち、社会で役立つ人間となれるよう、頑張ります。先生方や先輩方のご指導を大切にし、この明誠学院高等学校の一員としての誇りを持ち、伝統を引き継いでいけるよう、努力いたします。

最後に、明誠学院高等学校の名の通り、明るく、誠実に、実りある学校生活を送ることを誓い、新入生の挨拶といたします。

令和三年四月九日

明誠学院高等学校 新入生代表 岡本 芽依